

## 4 道徳教育の充実

各学校では「熊本の心」を活用した授業を、地域や保護者に公開されており、道徳教育の充実に向けた取組がなされています。一方、「道徳を自分の生活に生かそうと（「アしている」+「イどちらかといえば」の割合）しているか。」という児童生徒への設問の結果（上表）からは、道徳的実践意欲と態度を育てるために、更なる工夫改善の必要があると言えます。

【指導課関係調査12月より】

上益城	生活に生かそうとしているか
小学校	85.0%
中学校	86.0%

次の点について、自分の授業を振り返ってみましょう。

全体計画の重点事項と年間指導計画の内容の整合性が取図れているか。

年間指導計画に沿って実施しているか。

本時の展開が気持ちの読み取りに偏り、単調になっていないか。

教材研究を行って、授業を行っているか。

### (1) 道徳の教科化に向けて

【平成27年8月実施小学校教育課程地区別研究協議会資料より】

平成27年度小学校教育課程地区別研究協議会（道徳）概要

#### 1 道徳教育の抜本的改善・充実について

中央教育審議会答申から（平成26年10月21日）

道徳教育の要である道徳の時間において、その特質を生かした授業が行われていない場合がある。

発達段階が上がるにつれ、授業に対する児童生徒の受け止めがよくなる状況がある。

学校や教員によって指導の格差が大きいのではないかと。

#### 道徳に係る教育課程の改善方策

- ①道徳の時間を「特別の教科道徳」（仮称）として位置付ける
- ②目標を明確で理解しやすいものに改善する
- ③道徳の内容をより発達段階を踏まえた体系的なものに改善する
- ④多様で効果的な道徳教育の指導方法へと改善する
- ⑤「特別の教科道徳」（仮称）に検定教科書を導入する
- ⑥一人一人のよさを伸ばし、成長を促すための評価を充実する

#### 3 「特別の教科道徳」の実施に向けて各学校で行うべきこと

- ①学校の道徳教育の目標を明確にすること  
・どのような児童を育てたいのか明らかにする。
- ②学校の重点内容項目を明確にすること  
・目標に向かって、どのような内容を重点的に指導するのか明らかにする。
- ③学校の重点内容項目に関わる具体的な指導の機会、時期の明確化  
・重点内容項目をいつ、どのような機会に指導するのか明らかにする。
- ④学校の道徳教育の全体計画及び別業の作成  
・道徳教育の全体計画と指導内容・時期（別業）を作成する。
- ⑤道徳の授業の確実な実施  
・学校として授業を大切にしようという雰囲気をつくる。
- ⑥道徳の授業における子供の学習状況の把握  
・明確な指導観をもって授業をして、児童の学習状況を把握する。

「小学校学習指導要領解説 総則編（抄）」、「小学習指導要領解説 特別の教科道徳編」を読んでみましょう。

#### 2 国の施策の方向について

H27. 3. 27学校教育法施行規則の一部を改正する省令の制定  
小・中学校学習指導要領の一部を改正する告示

H27. 7. 3 小（中）学校学習指導要領解説 総則編（抄）  
小（中）学校学習指導要領解説 特別の教科道徳編

H27年度～一部改正学習指導要領の趣旨を踏まえた取組（移行措置）実施可能  
H27年度内道徳の評価の在り方に関する専門家会議の審議等を踏まえ、道徳の指導方法等に関する教師用資料の作成、配付の予定

H30年度～小学校・特別支援学校小学部一部改正学習指導要領の施行  
H31年度～中学校・特別支援学校中学部一部改正学習指導要領の施行

現在の道徳教育を、より一層充実させていくことが大切！

#### 4 本県の道徳教育に関する課題と取組

平成26年度道徳教育実施状況調査より

- 道徳の時間で学んだことを自分の生活に生かそうとしている…83.4%
- 全教師による道徳教育の推進体制…66.4%
- 日常的な学級経営を充実させるための具体的な計画…69.4%

平成27年度本県の取組（平成28年度からの「特別の教科道徳」の趣旨・内容を踏まえた授業の実施に向けて）

- 道徳教育推進協議会の実施、作業部会により提言のまとめ
- 指導者養成研修、道徳教育パワーアップ研究協議会
- 「熊本の心」広報テレビ番組制作・放映とDVD作成

○「私たちの道徳」の活用  
・道徳の時間はもちろん、学校の教育活動全体を通じて、計画的に活用しましょう。家庭や地域での活用も！  
・一人一人に確実に配付しましょう。

○「熊本の心」の活用  
・郷土のすばらしさを伝え、人間の生き方や考え方を共感をもって学び、郷土に対する愛着を深めることができるよう作成。学校に備え置き、教育活動全体で活用しましょう。授業の公開も！

<平成28年度4月のスタートまでにすること>

「特別の教科 道徳」の解説や道徳教育パワーアップ研究協議会の資料等を読み、趣旨や内容項目がどう変わったか等を確認する。

熊本県教育委員会から出される提言に従って、「私たちの道徳」や「熊本の心」を活用した年間計画の作成や新たな内容項目への対応を検討する。

(2) 津森小学校の実践

過程時間	学習活動	○主な発問／・指示／c児童の反応	指導上の留意点	備考
つ 5分	1 友だちがいて嬉しいのはどんなときか考える。(5分)	○友だちがいて嬉しいのはどんなときですか。 c 外で一緒に遊ぶとき。 c 一緒に勉強するとき。 c 困っていたら声をかけてくれたとき。	・2学期の活動の写真を提示しながら、友だちと一緒に過ごしてきたことを振り返り、学習の方向づけをする。 ・登場人物の紹介をし、内容把握をしやすいようにする。	写真 テレビ ペープ サート
もっと「えがおいっぱい」(学級目標の1つ)のなかまになるにはどうするとよいか考えよう。				
もり 20分	2 資料「こころはっば」を聞いて話し合う。  (1) いのししくんのつぶやきを聞いて、顔を見合わせた、たぬきくん、きつねくん、うさぎちゃんの気持ちを考える。  (2) 飛んでいくこころはっばを、笑いながら追いかける、みんなの気持ちを考える。	○3匹は、顔を見合わせて、どんな話をしたかな。 c さみしそうだね。 c いのししくん、どんな子かな。 c 声をかけようかな。 c 一緒に遊ぼうよ。 c 友だちになってみたいな。  ◎こころはっばをわらってわらって追いかける4匹。どんな気持ちだったかな。 c 友だちがいると楽しいな。 c 声をかけてよかったな。 c みんなありがとう。 c もっと友だちができるといいな。	・資料提示は、場面絵やキーワードを併せて読み聞かせを行い、内容把握ができるようにする。 ・事前に一人一人塗らせておいたさみしい色のこころはっばを提示することで、いのししくんの気持ちにも共感できるようにする。また、提示する際、いのししくんのどんな気持ちからさみしい色になったかも確認する。  ・こころはっばの色の変化とともに、4匹の表情も変わったことが分かるよう、4匹の表情のカードを提示する。 ・4匹の気持ちをたくさん出し合わせることで、3匹が進んで関わったことのよさを感じさせたい。また、声をかけたことのよさなど、ねらいに迫るキーワードを書いている児童を意図的に指名する。  【評価】3匹が進んで関わったことのよさに気付いている。(発言・ワークシート)	場面絵 ペープ サート キー ワード の カ ー ド  ワー ク シ ー ト 表 情 カ ー ド
の 15分	3 自分について振り返る。	○みんなのこころはっばが、素敵な色に変ったのは、どんなときですか。	・一人一人自分のこころはっばを書いたり、色を塗ったりすることで、友だちとの出来事で嬉しかったことを振り返ることができるようにする。 ・全体の場で発表し合うことで、友だちに進んで関わってよかった、関わってよかったという思いを持たせたい。 ・学級のこころはっばの木は教室に掲示し、これから活用していくことを伝え、意欲を持たせたい。	学級の ここ ろ は っ ば の 木  は っ ば の カ ー ド (ワ ー ク シ ー ト)
こ 5分	4 「すてきな友だち」をみんなで歌う。		・みんなで歌を歌うことで、友だちのよさを感じ、進んで関わり合い仲よくしていこうという思いを高めたい。	CD

<導入の工夫>  
身近な話題から、  
本時の学習内容に  
つなげます。

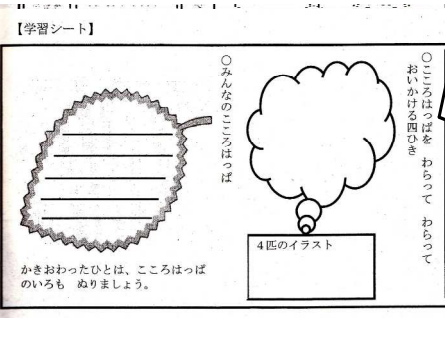
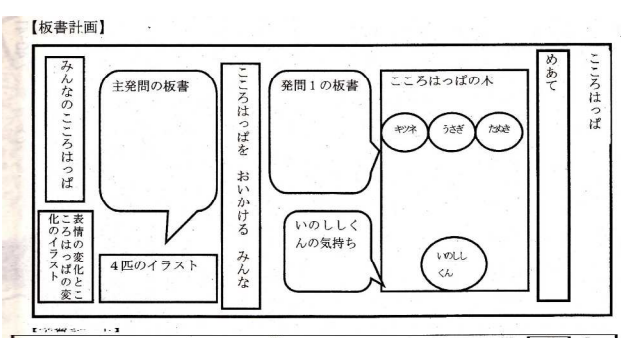
「どんな話をしたかな。」と、会話を想像することから、気持ちを考えます。

表情のカードを示し、  
絵からも気持ちを考えさせることができます。

意図的な指名をすることで、  
学習の流れがぶれません。

本時の学習で学んだことを自分の考えた色や言葉で表すことで、子どもたちの変化が見えます。掲示することで、交流にもなります。

歌を歌って、余韻を残す  
終末の工夫もあります。



板書計画とそれに合わせたワークシートの例です。板書やシートの内容、量は、精選しましょう。